

# 2024年のガス市場見通し

- LNG需給バランスは緩和へ。同時に不確実性が継続、市場安定化に課題 -

---

一般財団法人日本エネルギー経済研究所

資源・燃料・エネルギー安全保障ユニット

上級スペシャリスト 橋本 裕

[hiroshi.hashimoto@tky.ieej.or.jp](mailto:hiroshi.hashimoto@tky.ieej.or.jp)

# 本報告のポイント

## I. 価格見通し

1. 日本のLNG輸入価格、2023年見通し13.4ドル、2024年は12.1ドル（100万Btu）  
アジアのスポットLNG価格は、2023年見通し16ドル弱、2024年は14ドル弱
2. 2023年の市況感軟調傾向が2024年も継続する

## II. LNG需給見通し

3. 世界LNG市場、2023年4億トンから、2024年4.3億トン、2025年4.6億トンに拡大
4. 北米、アフリカ、アジアで新規LNG生産プロジェクトが稼働開始する見込みだが、供給拡大は緩やか。供給余力幅が薄く、季節的な逼迫可能性はある

## III. LNG市場のバランス要因（2024年、2025年）

5. 米国を中心に新規・拡張LNG生産プロジェクトの順調な稼働開始がカギとなる
6. 欧州、中国のガス市場動向が世界のLNG市場バランスを左右する

## IV. LNG市場の将来を見据えた留意点

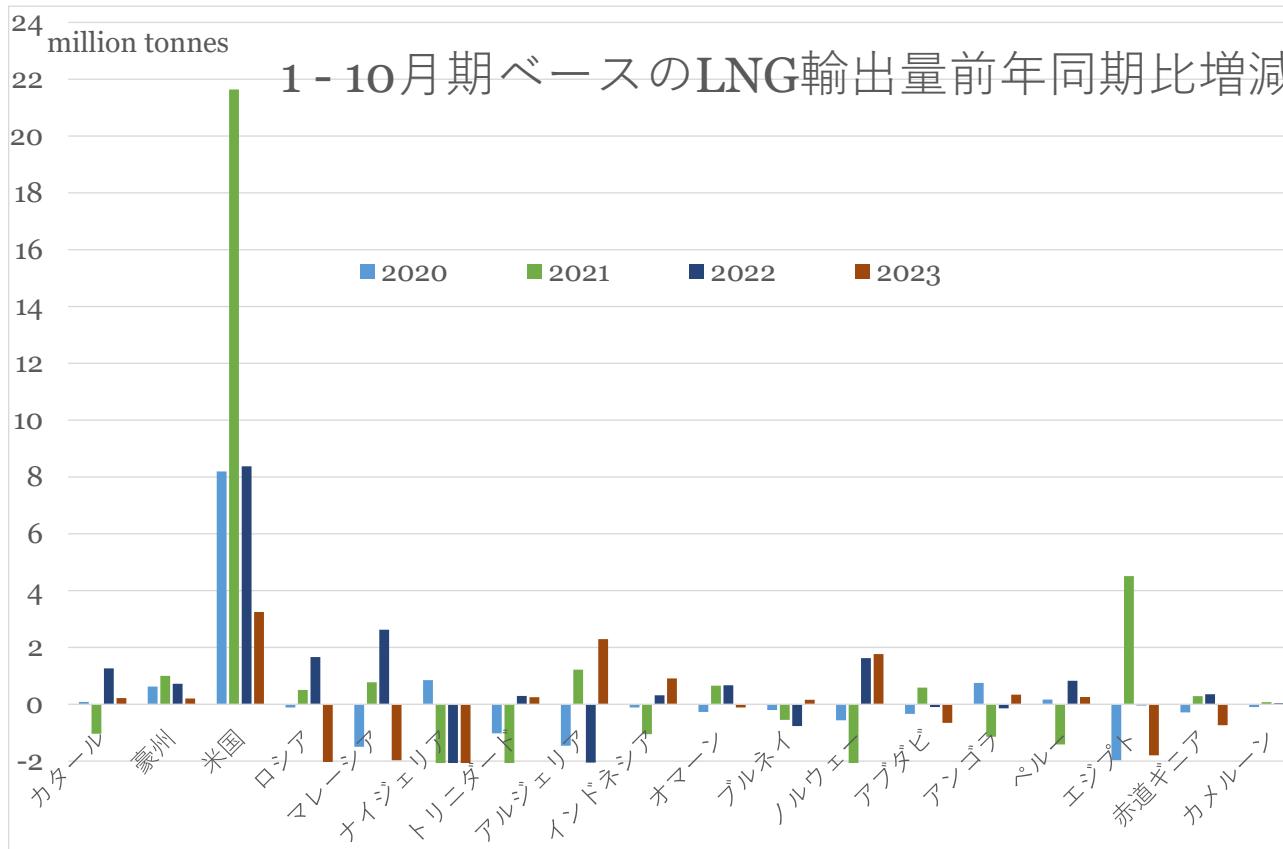
7. 世界各地でLNG供給増への取り組み進展も、開発に伴うリスクも散見
8. 建設決定後の遅延・コスト増加リスク、稼働開始後もトラブルリスクが増加
9. 長期コミットメントを可能とする枠組、トランジッショングローバル化のLNG基準明確化

## V. LNG市場2023年のトピックスと2024年の注目点

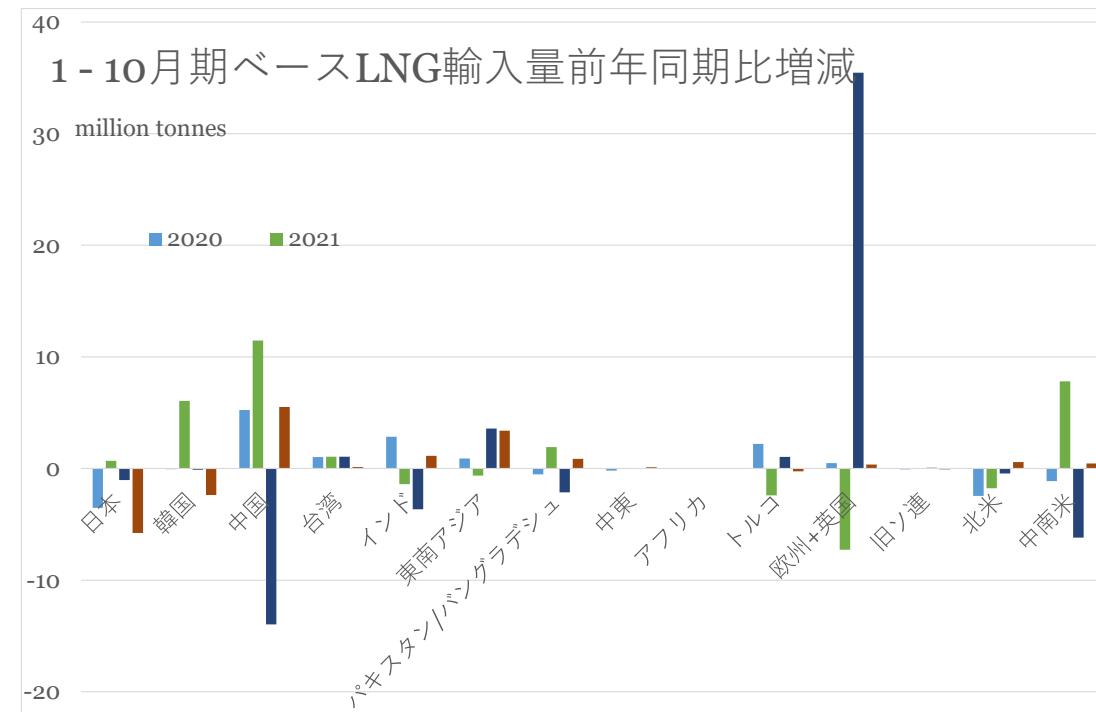
10. 世界首位のLNG輸出国の米国で、追加LNG生産プロジェクトの進展
11. カタール超大型拡張計画からのLNG販売・出資参加の先行き

## LNG輸出入状況（2023年10月まで） 前年比変動は緩やか

- 総LNG貿易量、2023年1 - 10月分で微増 (+1%)
    - 引き続き輸出増は米国がリードだが、増加率は緩やか
    - 輸入側では中国、東南アジアが増加、日本は減少
    - 欧州連合+英国では、2022年大幅増加後の高水準で横這い

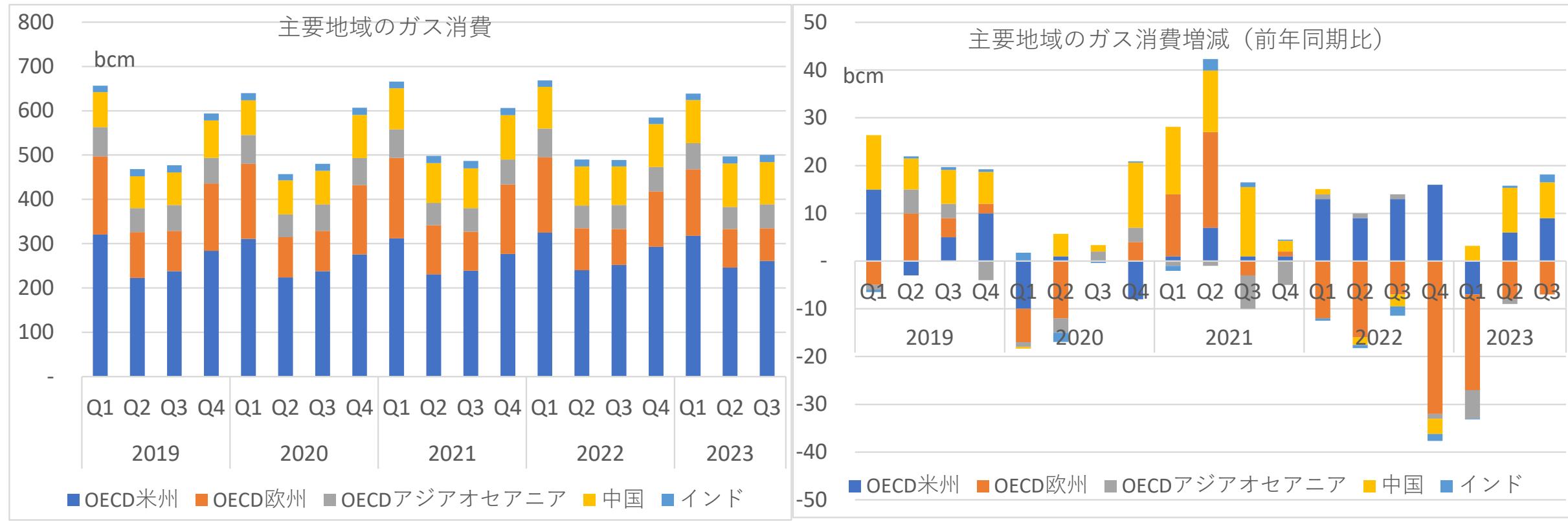


		欧洲+英国	日本	中国
2021	1-10	54.91	61.42	64.41
2022	1-10	89.79	60.39	50.46
2023	1-10	90.30	54.32	56.25
2023-2022	+/- mt	+0.50	-6.06	+5.79
2023/2022	+/- %	+0.6%	-10.0%	+11.5%
2023-2021	+/- mt	+35.39	-7.09	-8.16
2023/2021	+/- %	+64.4%	-11.5%	-12.7%



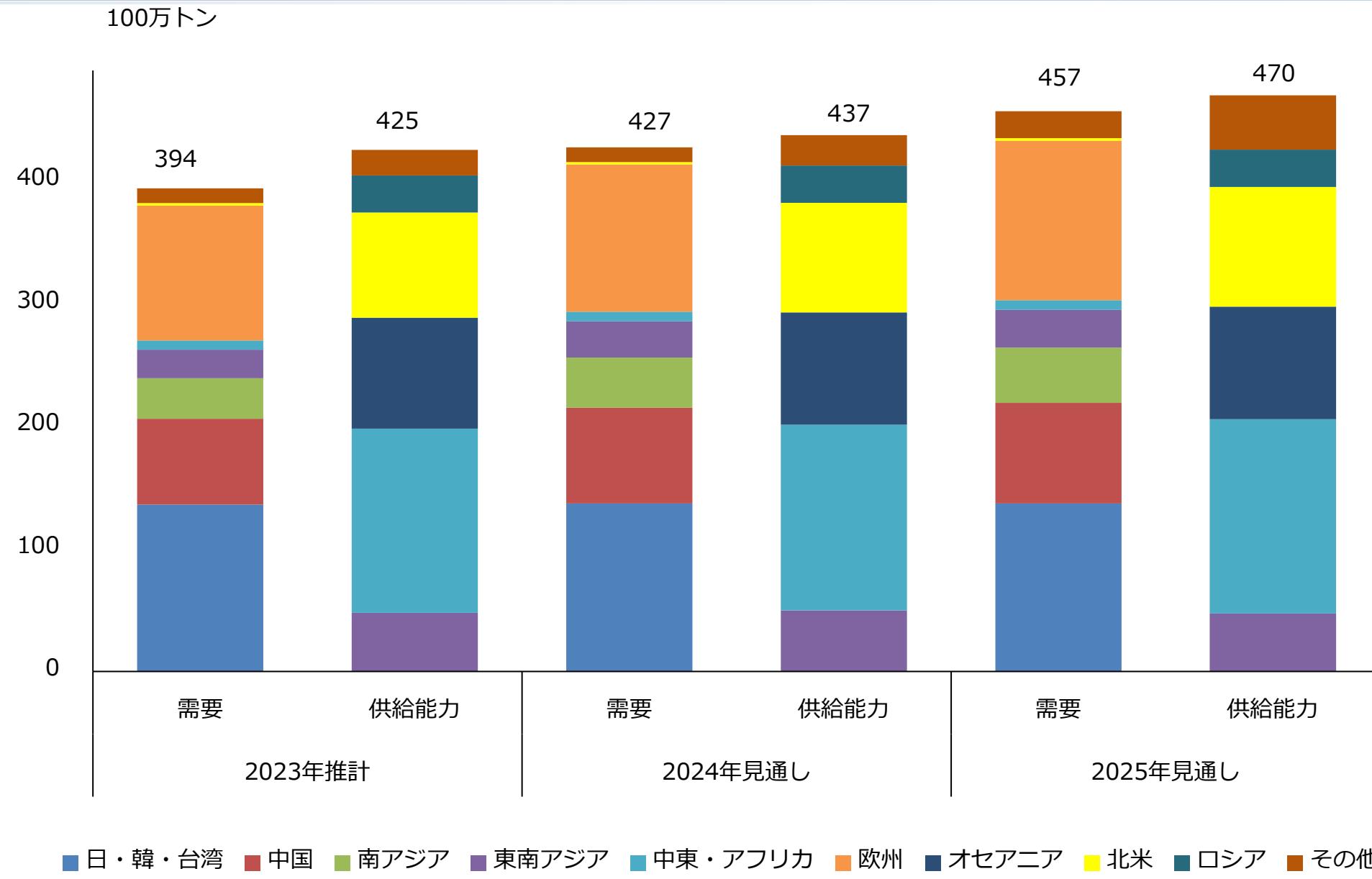
# 大消費市場のガス消費状況（2023年第3四半期まで）

- OECD米州、欧州、アジア太平洋、中国、インド合計のガス消費、第3四半期まで微減 (-1%)
- 2023年は、米国、中国のガス消費が増加
- 欧州、アジアオセアニア（日本を含む）のガス消費が減少



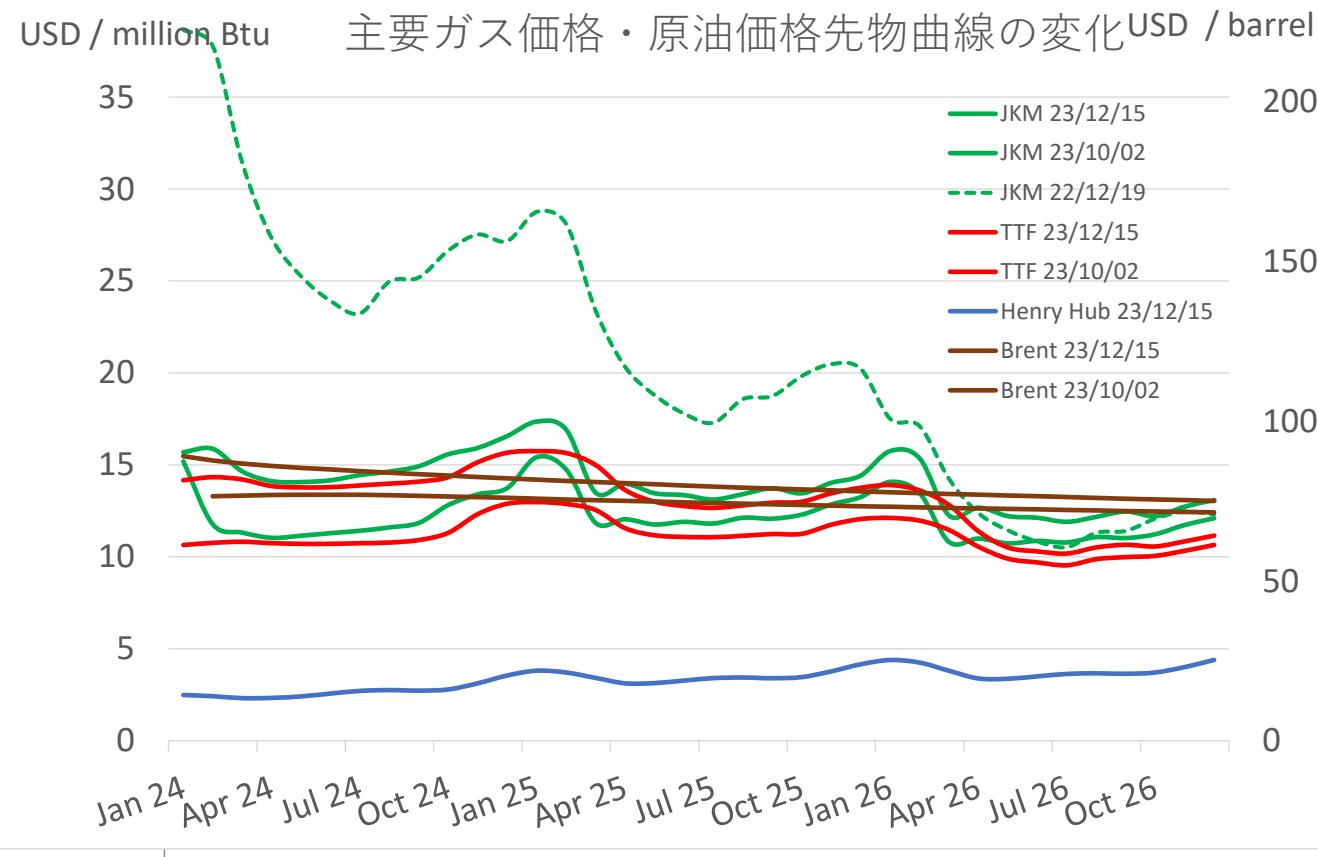
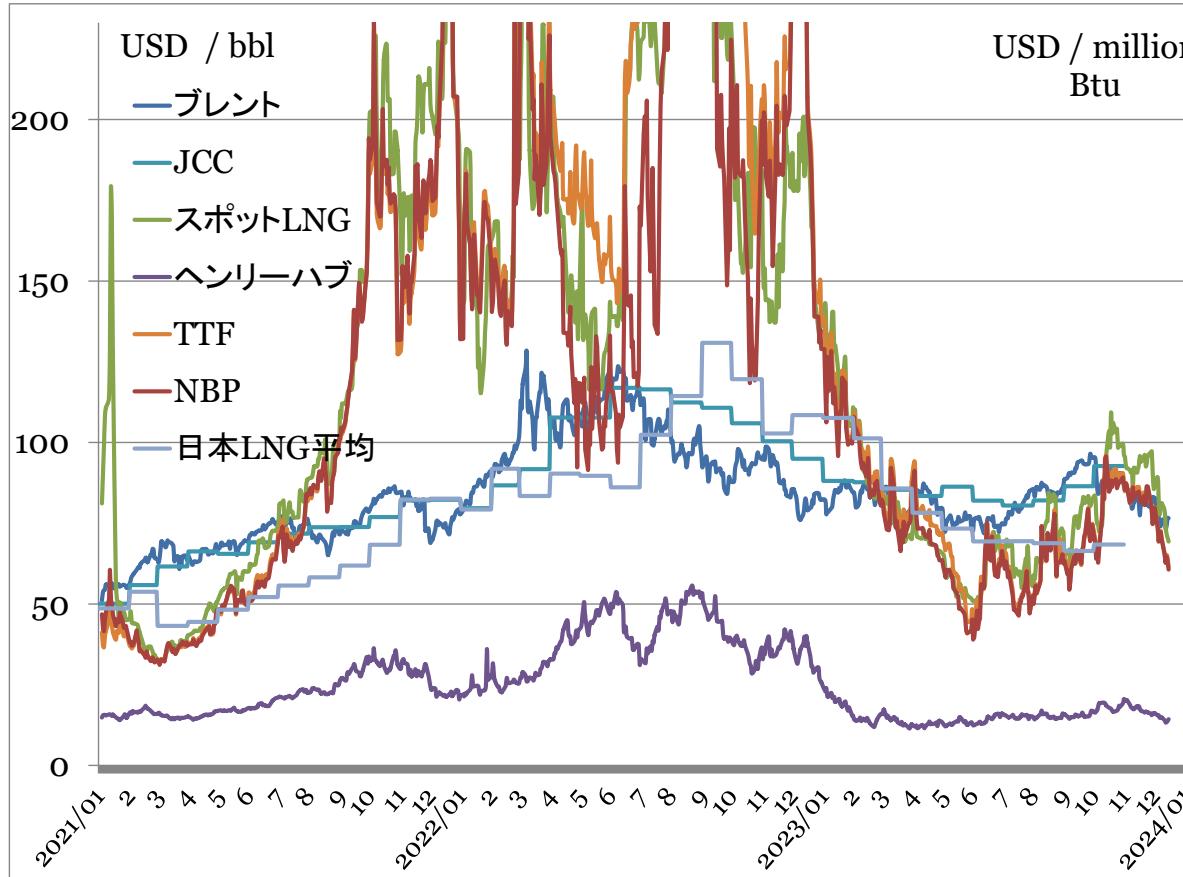
# LNG市場、2024年、2025年とも拡大見通し、供給余力は小

- 世界のLNG貿易量は、2024年、2025年とも7% - 8%程度の拡大見通し
- 北米、アフリカ、アジアで新規LNG生産プロジェクトが稼働開始する見込みだが、キャパシティ増加は緩やか
- 供給余力幅が小さく、季節需要変動、供給支障時に一時的な逼迫が発生する可能性はある
- 欧州、中国の需要動向がLNG市場の需給バランスを左右する



# スポットLNG価格先物など、先行き市況感緩む

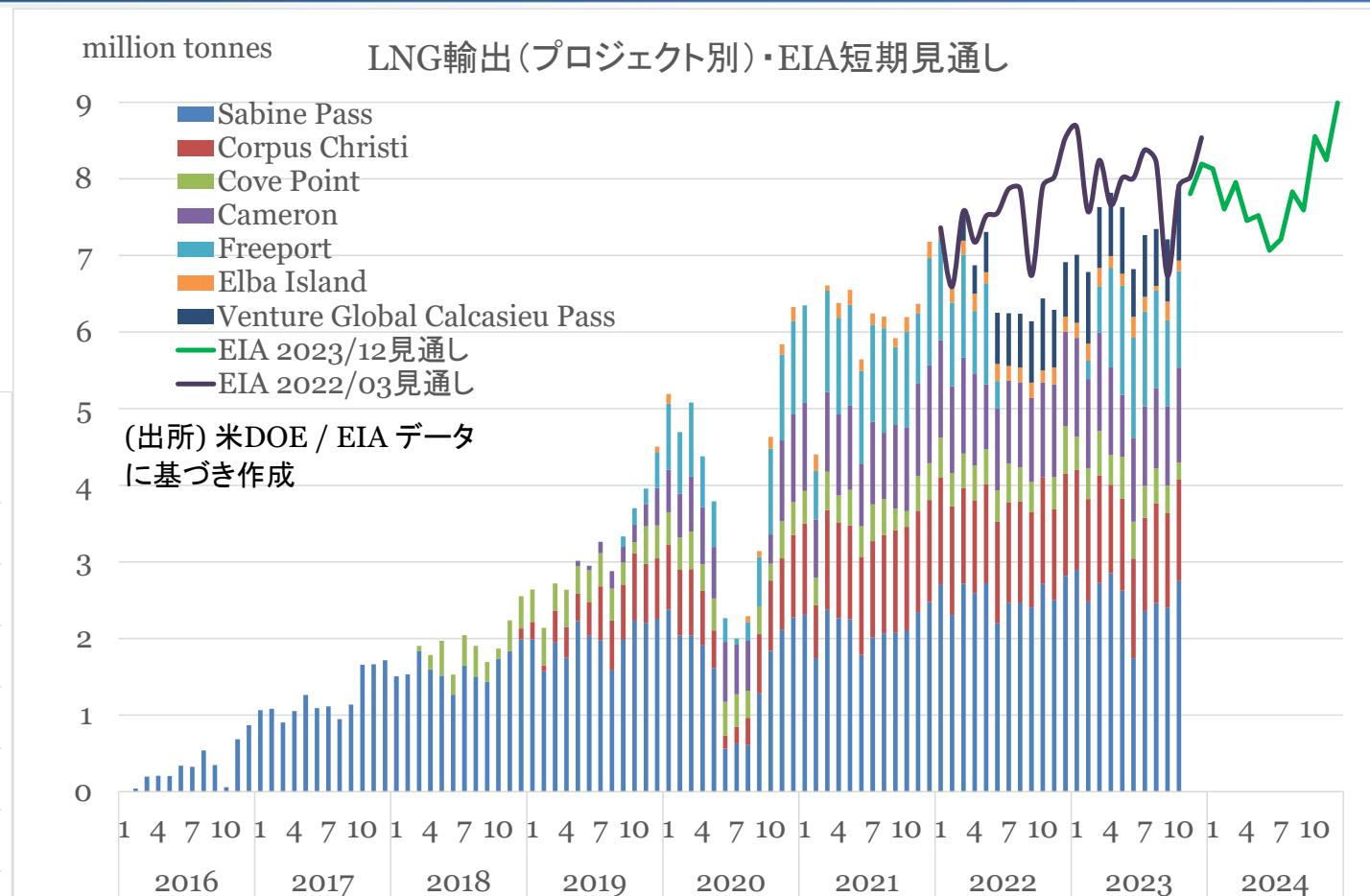
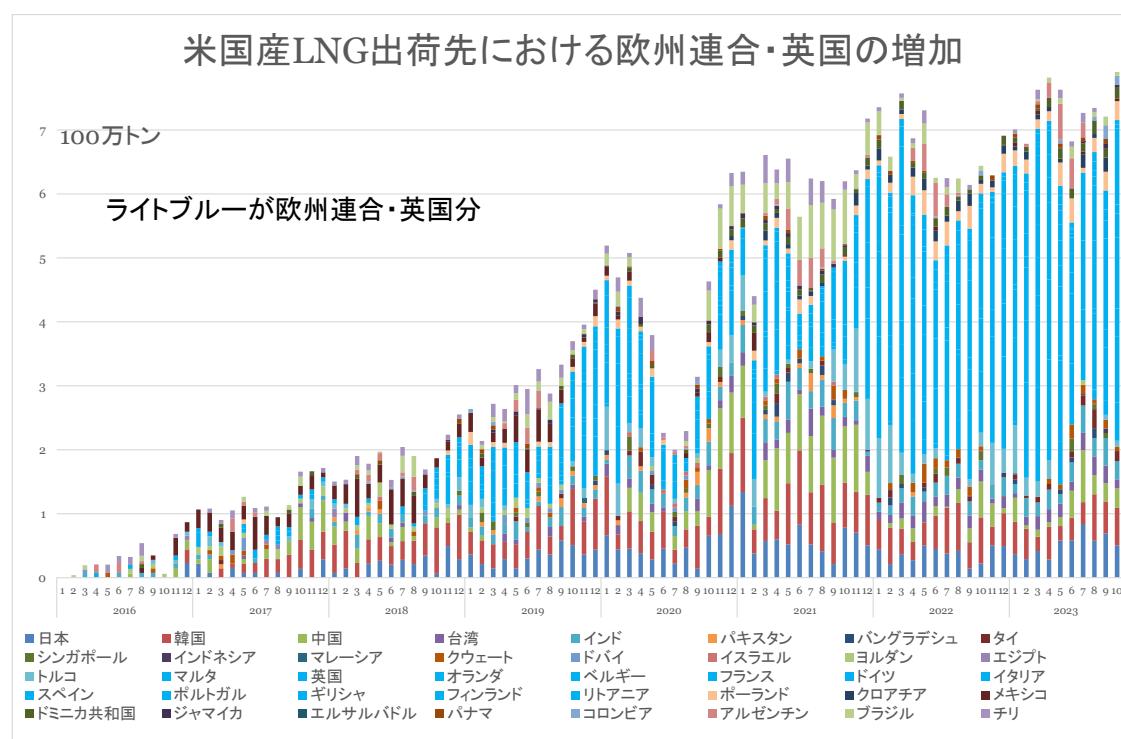
- 市況感は、2022年末以降に大幅変化 (2023/2024年北半球冬季: USD 40 から USD 15近辺に低下)
  - 北半球のガス需要が低位で推移し、特に欧州連合におけるガス需要削減策と、高価格による需要破壊
  - LNG供給は米国産を中心に豊富であり、大きなトラブルがなく稼働している



(出所) 日本貿易統計, CME, ICIS LNG Edge

# 米国産LNG輸出状況 - 当面欧洲向けに重点

- ✓ 2023年は、欧州スポットガス、アジアスポットLNG価格がともに低下したことで、米国産LNGのアジア市場向け供給が若干増加している
  - ✓ とはいっても、米LNG輸出中の欧州連合+英国比率が2022年は64%に増加、2023年も60%強
  - ✓ アジア比率は2022年23%に低下、2023年も25%程度



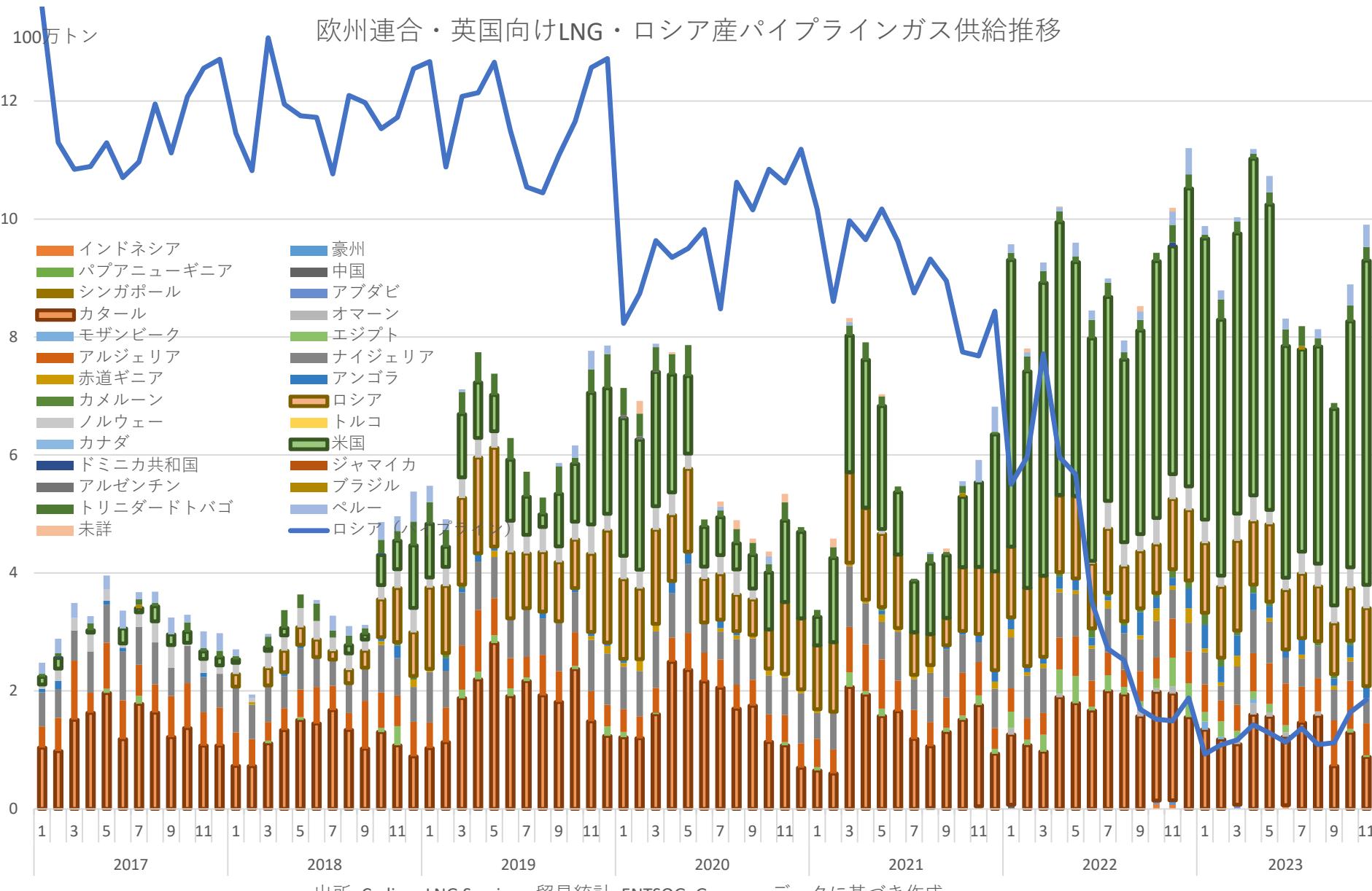
- ✓ 米国LNG生産は、複数のプロジェクトにより、供給セキュリティ性が高い
  - ✓ 一方で大型プロジェクトが多く、供給支障時の世界市場へのインパクトが大きい

# シェール革命推移 - 国際市場との関わりの中で

- 米国のシェール革命は、国際LNG市場と相互作用しながら段階的に進展
- 直近で米国は世界最大のLNG輸出国となり、欧州の脱ロシアにも貢献
- 米国の今後の追加LNG生産プロジェクト開発が新興市場含めたLNG市場発展を支える

米国内ガス市場		国際LNG市場	米国と国際市場の関係
~2007	米国内ガス価格上昇、米国内ガス開発促進	世界的なガス・原油価格上昇	LNG生産諸国での投資促進
2008~	シェール革命ガスから開始、ガス・原油価格差の拡大	カタール、ロシア等LNG輸出拡大	LNG価格のアジアプレミアムが顕著化(特に日本の原発危機以降)
2014~	LNG輸出プロジェクト進展、輸出開始と拡大 原油生産増加とともに、随伴ガス増加加速	豪州中心にLNG輸出プロジェクト大拡張進展	米国産LNG登場が国際LNG取引柔軟化刺激へ
2019	LNG輸出設備への投資決定、世界年間7000万トン中、米国分が年間3000万トン分	供給増加によるLNG・ガス価格低下	米国内・国際市場価格差が追加投資決定を促進
2020	北半球夏季にLNG輸出キャンセル多発	世界同時LNG・ガス価格史上最低水準、市場間のガス価格融合	世界ガス価格低迷で北半球夏季に米国産LNGキャンセル多発
2021	世界LNG供給増加分を事实上独占	2021年下半期以降、価格上昇・高価格常態化 (LNG生産設備障害も価格上昇に影響)	国際LNG・ガス価格高水準も、先行き不透明感によりLNG投資決定が足踏み
2022 ~ 2023	<b>2023年、米がLNG輸出世界筆頭 LNG生産プロジェクト開発加速</b>  世界市場影響も受け、一時はガス価格上昇、その後再び安定化	<b>ロシア産パイプラインガス激減</b>  <b>欧州LNG引き取り急増</b>  ガス価格変動が激化	国際市場高価格が、米国のみならず、ロシア以外の世界各地LNG生産開発加速

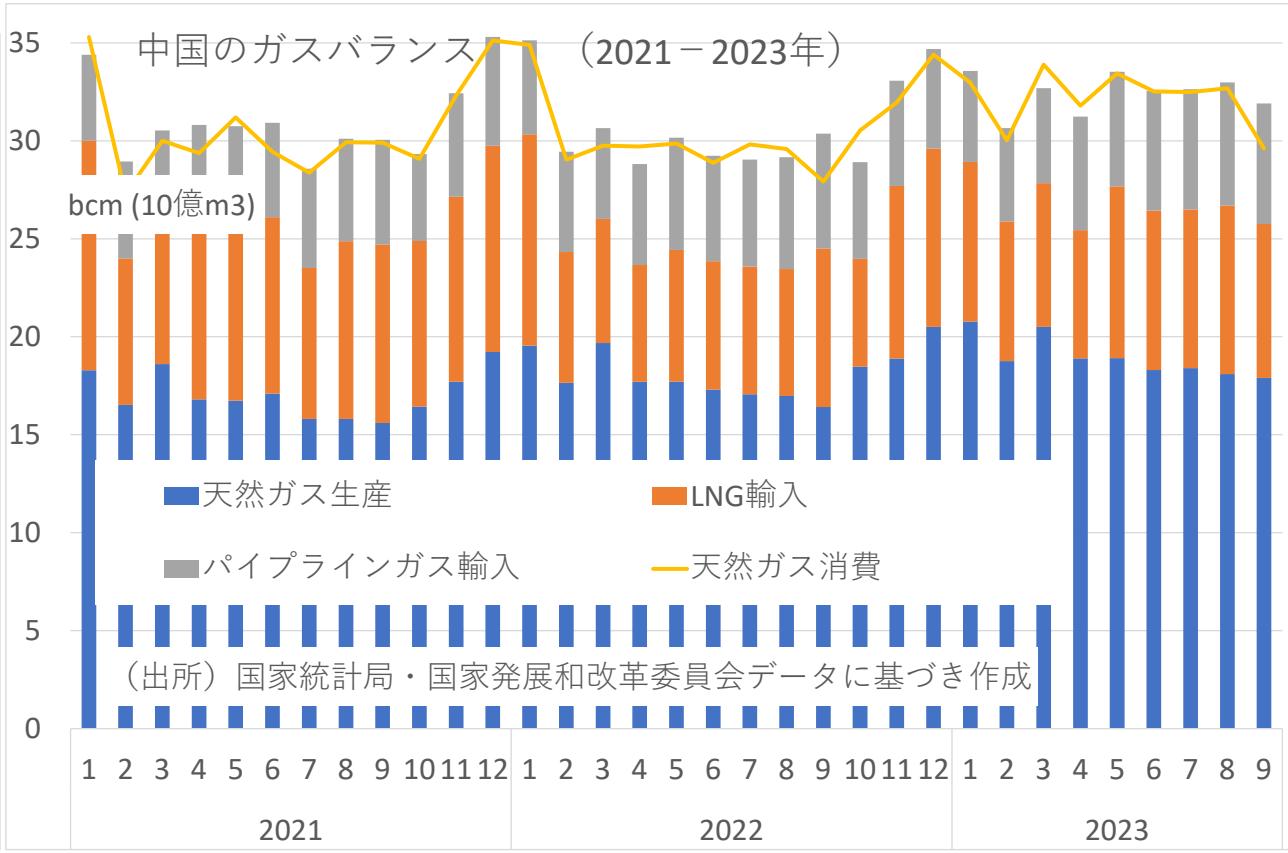
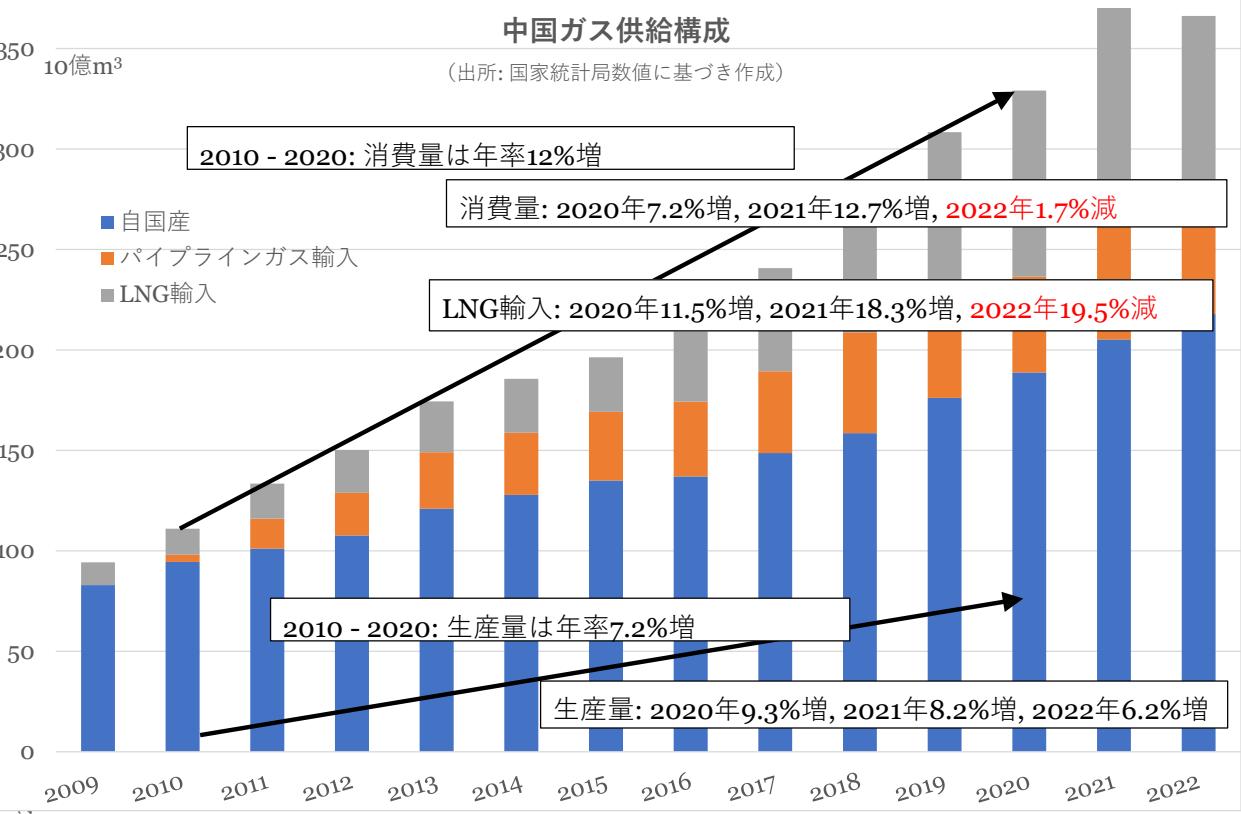
# 欧洲向け輸入 - 口産パイプラインガス減を米口LNGが埋める



- ✓ ロシア産パイプラインガスの欧洲連合向け供給: 2021年12月800万トン強 ---> 2023年は月当たり100 - 200万トン
- ✓ ロシア産パイプラインガス欧洲向け輸出減少を、米国産LNGが代替
- ✓ ロシア産LNGの欧洲向け輸出は堅調

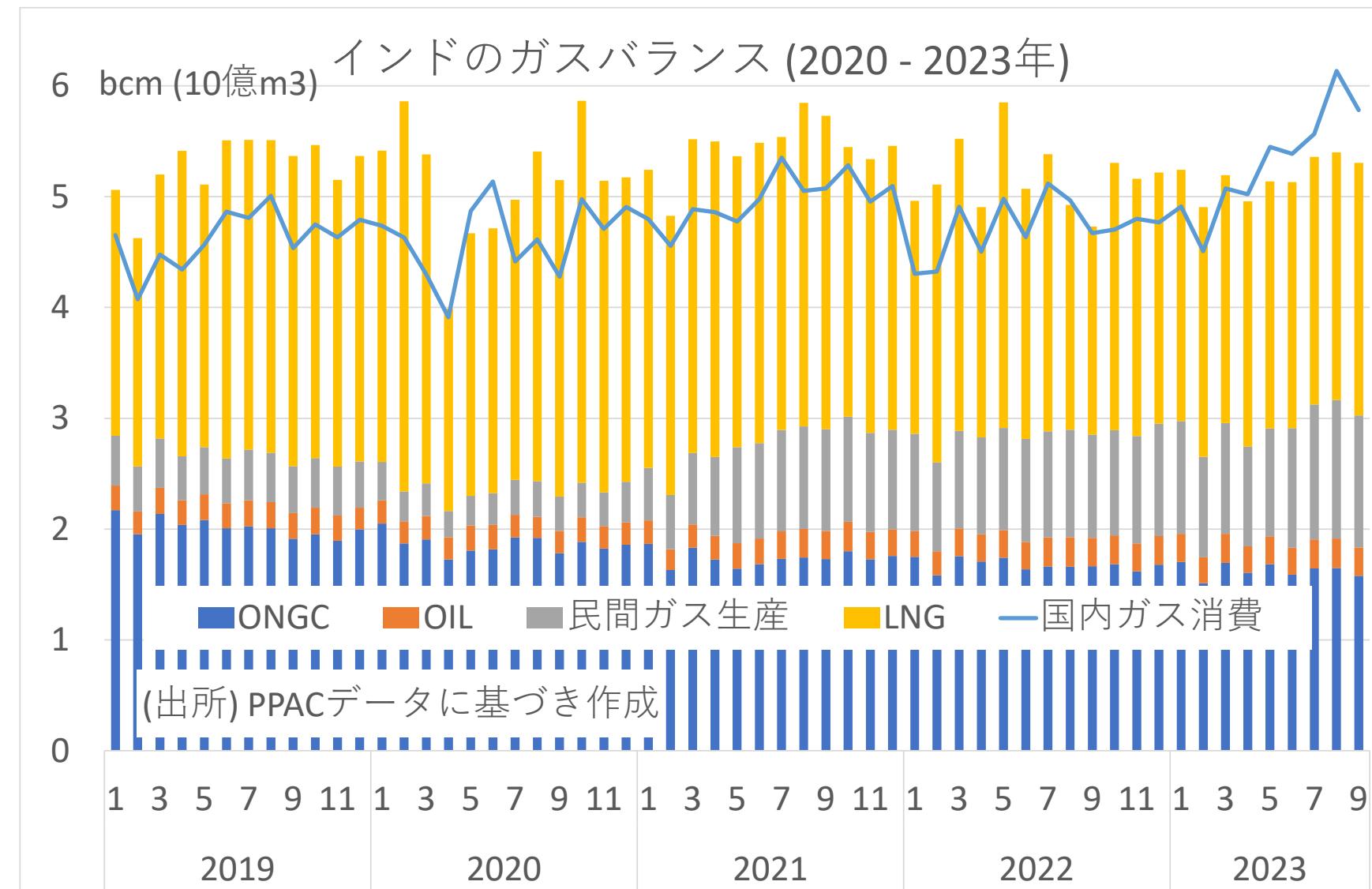
## 中国のガス市場動向

- 中国は2022年にガス市場規模が初めて縮小後、2023年増加基調に復帰
    - 但しガス消費量の増勢は、大きくなく、2023年のガス消費量は、9月までの実績で2021年水準を下回る
    - パイプラインガス輸入、国内ガス生産増加もあり、LNG輸入増加は緩やか



## インドのガス市場動向

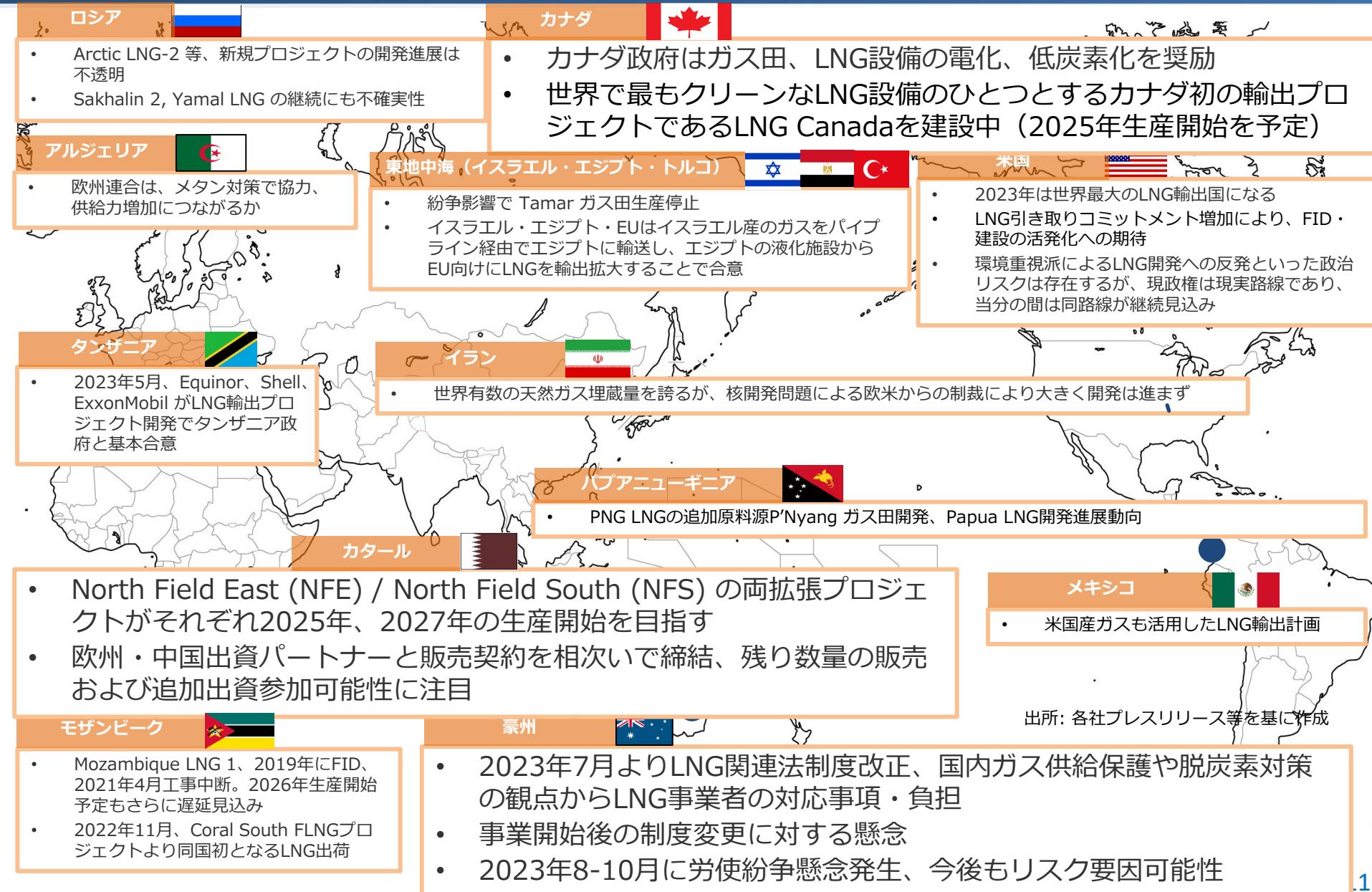
- インドのガス消費は、2022年に縮小後、2023年増加基調に復帰（3四半期ベースで前年同期比+13%）
    - 国内ガス生産は順調に増加しているが、国有ONGC生産は減少、民間生産が大幅増加
    - 国内ガス生産増加もあり、LNG輸入は2022年大幅減に続き、微減



# 各地のLNG生産設備、プロジェクト開発に関する留意点

- ✓ カナダなど新規LNG供給源に期待
- ✓ カタールのLNGマーケティングの次のステップに注目
- ✓ 豪州LNGの安定供給維持策・リスク軽減が急務

- 世界各地でLNG供給増への取り組み進展
- 開発に伴うリスクも散見
- 建設決定後の遅延・コスト増加リスク、稼働開始後もトラブルリスクが増加
- 開発しやすい案件は、多くの場合開発済みで、今後はフロンティア資源あるいは難度の高い案件となる
- 既存LNG生産設備に追加建設する拡張（ブラウンフィールド）、原料ガス供給を代替するバックフィルなどの案件に経済的優位性



# LNGプロジェクトの短期的・長期的諸課題

- トランジッショングに適合するLNG基準の明確化により、長期コミットメント含め、安定調達可能にすべき
- ポートフォリオプレイヤーの役割拡大

## 注目点および、LNG消費国側から取り組むべき課題

供給面	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ロシア産パイプラインガス削減、ロシア産LNG中断のリスクへの対処</li> <li>✓ LNG生産国における原料ガス不足、生産面でのトラブル対応</li> <li>✓ 今後の新規LNG生産プロジェクト立ち上がり、着実な実現がカギ</li> <li>✓ <b>ポートフォリオプレイヤーによる供給など、最終市場が確定していないLNG供給の活用</b></li> </ul>
需要面	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 中国のLNG・天然ガス需要の回復の規模・速度とこれへの対応</li> <li>✓ 日本・韓国・フランス等の原発稼働状況が、世界LNG需要にも影響</li> <li>✓ 欧州ガス需要減（需要削減努力と需要破壊）が世界バランスに影響</li> <li>✓ 新興市場の価格感応性による需要変動と、先行LNG消費国からの支援ポテンシャル</li> <li>✓ 長期コミットメント可能とする官民での工夫が必要</li> <li>✓ <b>需要アグリゲーション、ポートフォリオプレイヤー活用や共同調達が必要</b></li> </ul>
価格面	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>ボラティリティ拡大、ガス対ガス価格設定方式増加による変動影響拡大に対する対処</b></li> <li>✓ 原油連動主流から、ガスハブ価格方式連動が拡大。適切な組み合わせ追求が課題</li> </ul>
環境面	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>脱炭素のエネルギー転換に適合する基準の明確化 - メタン・GHG排出対策がカギ</b></li> <li>✓ LNG液化におけるCC(U)S/電力グリーン化の推進がLNGのグリーン化に貢献する</li> </ul>
金融面	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 契約短期化に対応する資金調達方法が必要</li> <li>✓ 市場拡大により、新たに参入する買主の信用力担保の対応も重要に</li> <li>✓ <b>投資対象・融資先としてLNGプロジェクトの経済的優位性、環境面の優越性をアピールする必要性</b></li> </ul>

# LNG市場2023年のトピックスと2024年の注目点

- 3大LNG輸出国の動向が2024年のLNG市場の安定に力ギを握る
- LNGバリューチェーンでのメタン排出管理への動きが加速する

2023年のトピックス	2024年の注目点
LNG市場のバランス緩和・スポット価格低下	トラブルなく安定持続できるか
米国が世界首位のLNG輸出国に	新規生産設備増勢は緩むが、生産量自体は増加
<b>米国でLNGプロジェクト進展 (FID、長期契約)</b>	<b>今後規制承認手続き・FIDは計画通り進めるか</b>
欧州LNG引き取り高水準安定、FSRU相次いで稼働	引き続き高水準のLNG引き取りが続く
中国LNG輸入が成長復帰、増加率は予想下回る	長期契約量増加により、輸入安定増加の見通し
アジア新興LNG市場増加、需要増加軌道に戻る	新規輸入国含めLNG輸入増勢が増す
<b>カタールLNG拡張進展、パートナーとの大型契約</b>	<b>パートナー外へのLNG販売活動が増加見込み</b>
小型洋上LNG生産プロジェクト台頭	さらに新たなLNG生産拠点の増加へ
<b>豪州LNGの新たなリスク (労使紛争、環境規制)</b>	<b>LNG安定輸出持続への対策が打たれるか</b>
<b>LNGバリューチェーンのメタン対策気運の高まり</b>	<b>国際基準化の進展・国際イニシアチブ動向</b>
LNG輸送ボトルネック顕在化	LNG輸送合理化・最適化の進展
ポートフォリオプレイヤーのプレゼンス拡大	調達や生産プロジェクト立ち上げへの貢献
eメタンプロジェクトの検討進展	案件の具体化が進むか